

## 第 599 回 新潟放送番組審議会 議事録

### — 議題 —

「フリートーク」



平成 26 年 7 月 30 日

**BSN新潟放送**

## 第599回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成26年7月30日（水）午前11：00～

2. 開催場所 新潟放送本社 6F会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	松川公敏	副委員長	相羽利子
委員	高井盛雄	委員	古賀豊
委員	正道かほる	委員	行形貴子
委員	佐藤元	委員	佐藤明

○委員側欠席者

委員	佐々木広介	委員	小島良子
----	-------	----	------

○放送事業者側出席者

社長	竹石松次	専務	梅津雅之
常務	水田義雄	営業局長	斎藤和利
報道制作局長	五十嵐幹史	ラジオセンター長	鍵富徹

事務局

事務局長	小原弘志	(社長室長)
事務局員	増山由美子	(考查広報部長)

4. 議題 1、諮問 「新潟放送番組基準」改正について  
2、報告事項 「8月・9月の新番組・単発番組」報告  
3、審議事項 「フリートーキング」  
この半年間（1～6月）にB S Nで放送した番組について  
および放送全般について

5. 議事の概要

はじめに「民放連放送基準一部改正」にともなう「新潟放送番組基準改正」について竹石社長が番組審議会に諮問した。水田編成局長が改正の内容を説明し、委員による審議を経て「妥当である」との答申を得た。

## ～番組審議委員の主な意見・質問～

### ○ TBSの番組について

#### 「サンデーモーニング」

- ・1週間の動きを追いながら、背景のようなものも見せてくれる。知らなかつた別の面も教えてくれるので参考になりありがたい。コメントをする識者の人選もよく、コメントの質も高い。
- ・スポーツコーナーのメンテナーの見直しを。6年後の東京オリンピックでも、昭和のレジェンドが解説をするのか。フィジカル面・トレーニング面も含めトータルな知識を持った次世代の解説者を育成する必要があるのではないか。

#### 「がっちりマンデー」

- ・地方が衰退している中で、地域の元気をいろいろな角度から取り上げている。毎回、何が紹介されるか楽しみである。

#### 「夢の扉+」

- ・地道な研究や、ようやく脚光を浴びた研究成果、一般的には知られていない未来への可能性などが取り上げられていて、良質な番組である。

#### 「世界ふしぎ発見！」

- ・家族で楽しめる番組。安心して見られるような工夫をこらしている。

#### 「あきチャン！」

- ・朝ズバから変わってバラエティ色が強くなった。主婦層・若者層を狙ってか、生活情報が多く、ニュースが軽くなった印象。
- ・MCの二人はさわやかだが、線が細い。自局アナウンサーを使ったほうがよいのではないか。

#### 「いつぶく」

- ・いつぶくというと、午後のひと休み的な印象が強い。一日が始まる朝の時間帯には違うタイトルがよかつたように思う。

### ○ TBSのイメージについて

- ・TBSの良識や長年の経験が反映されている番組が多い。長寿番組をじょうずにリメイクし、さらに長く続けていくことを期待する。

### ○ BSN自社制作番組について

- ・「情熱にいがた」は毎回見ている。短く、コンパクトな番組だが、登場する経済人の業種や性格に応じてインタビュー内容を工夫し、コメントをうまく引き出している。

- ・ローカル番組は続けるということが大切だと思う。「水曜見ナイト」は、安定した内容で続いている。テーマはほとんどがグルメと旅、マンネリになりかねないが、それが視聴者のニーズならば極めるという形もあるのかもしれない。
- ・スポーツやお祭りなどの番組をどんどん制作してほしい。人口減少の中、地域の自然や人物などを通じてふるさとの魅力を伝えてほしい。
- ・B S Nには過去の貴重な映像がたくさんあり、それが様々な番組に使われて深みを増している。これからもアーカイブを充実させてほしい。

## ○ 放送全般について

- ・S T A P細胞、東京都議会のやじ問題、号泣県議問題など、同じ映像が繰り返し流れることには辟易する。過剰ではないか。
- ・情報番組での報道合戦が過熱している。取材対象者の家族の気持ちを考えると気の毒になる。
- ・スポーツ中継について。野球に限らずアップの映像が多すぎる。スポーツを見るには引いた映像の方が良い。アップにされると試合の動きがわからなくなる。
- ・情報番組におけるCMの入れ方に工夫がほしい。強調するためにCMを挟んで同じ映像を繰り返すことがあるが、視聴者目線で制作してほしい。
- ・女子高校生の殺人事件、連日ショッキングな内容を見せられて、小中高校生がどのように受け止めて、どう消化していくのだろうということを念頭において報道してほしい。
- ・ジャーナリズムには、国民にとって大切な大きなテーマを多面的に伝え、考える材料を与える役割があると思う。そのような意識を持って報道してほしい。